

充実した学びの環境で、
毎年50名以上の学生が教師の道へ。

■取得可能な免許・資格数
広島県内私立大学トップクラス

■教員免許取得者のうち

13 課程

毎年約 **60%** が
複数の免許を取得

幼・小・中・高・栄養・特支の一種免許状及び保育士・社会教育主事養成課程を用意しています。大学院に進学し所定の単位を修得すると、専修免許の取得も可能です。(小・中・高)

複数の校種・教科の教員免許を取得することで、幅広い教育現場で活躍することができます。また、複数の専門性を身につけることで、より知見が深い教員を目指すことができます。

■教員就職者数(現役のみ)

2019年～2023年度累計

広島県・市公立学校に限らず、中四国地方を中心に全国各地で、
広島修道大学で教員免許状を取得した卒業生が、教師として働いています。

318 名

■教職・資格課程ガイダンス数

教員免許取得を希望する学生が必要な情報を確実に入手できるように、
免許種別・学年別に手厚くサポートしています。

年間 **40** 回以上

■公立学校教員採用試験 高等学校(商業)に

採用募集人数の少ない高等学校(商業)でも合格者を毎年輩出しています。
大学内での専門講義だけでなく、教育実習に参加する前年度から
商業高校の授業を見学するなど、実践的な教育に力を入れています。

※(2020年～2023年度実績)
4 年連続
合格者輩出



教職課程委員会

〒731-3195 広島県広島市安佐南区大塚東1-1-1
問い合わせ先: 教学センター教務第2課 資格課程係
TEL: 082-830-1127



(2024年3月現在)



特別支援教育の知識が、 教員としての視野を広げる

■特別支援教育に携わるきっかけ

私は大学卒業時、特別支援学校教諭の免許状を取得しておらず、社会科の教員として中学校に赴任していました。ある日特別支援学級で授業をした際に、生徒の一人が突然パニックを起こし使っていた教材を破り捨ててしまいました。当時の私は目の前で起きたことが理解できませんでした。その後特別支援教育に精通されていた赴任校の校長に相談し、その子の障害に配慮しながら授業を実施したところ、その生徒は授業に参加できるようになりました。この時の経験がきっかけで特別支援教育について学ぶようになり、特別支援学校教諭の免許状を取得して現在に至っています。

■特別支援教育を学ぶということ

特別支援教育のニーズの高まりの背景に、特別な支援を必要とする児童や生徒が年々増加しているという社会情勢があります。特別支援学校に赴任していなくても、支援を必要とする児童や生徒と関わる機会も増えてきています。広島修道大学では特別支援教育の知識を体系的に身に付けることができる他、特別支援学校教諭一種免許状を取得することも可能です。勉強していけば、普通学級の児童・生徒が何に困っているのかを理解するための視点を養うこともできます。支援が必要な人は意外と身近にいます。特別支援教育を学ぶことは教員を目指す皆さんにとってプラスになると 생각합니다。

■特別支援教育の理解を広げたい

特別支援教育は言葉のイメージが先行し、難しさを感じさせてしまうかもしれませんが、決してそんなことはありません。知らないことが難しく感じているのだと思います。私が特別支援学校の授業で実践していることや研究していることを、多くの人へ広げていきたいと考えています。



池田 知史先生

広島市立広島特別支援学校 教務主任
広島修道大学大学院人文科学研究科教育学専攻2012年度修了
広島県立福山葦陽高校出身

大人しかった私が積極的な教師に

■教師を目指したきっかけ

大学4年生の時に一般企業に内定をいただきましたが、これで良いのかと悩み、教授からの勧めもあって大学院に進学。その後何か身に付けたいと思い、研究をしながら教員免許状を取得しました。教職科目の勉強をしていく中で、教職の魅力を発見し、教師になりたいと強く思うようになりました。

■海外留学で、内気な性格が積極的に

人文学部英語英文学科2年生の時に、1年間ニュージーランドの大学に留学しました。日本の大学ではまだまだ講義形式の授業が多い中、海外ではプレゼンテーションなど学生が主体的に自ら発信する場面が多く、大人しかった私が積極的な私に変わるきっかけになりました。

■教師という職業の魅力

実際に英語の先生になり、本当に良かったと感じています。教職は誰のために働いているかが明確な職業です。生徒たちが英語をできるようになったり、そのために分かりやすい授業を試行錯誤したり。また、毎日の授業や生徒からの質問は、新たな取り組みを生み出してくれることが多く、自分の成長にも繋がっています。

■生徒と海外の懸け橋に

海外に提携校を持つ私の勤務校には、国際理解プログラムがあります。そこにも積極的に関わりたいと思っています。現地視察等とおして、プログラムの発展に貢献したい。また生徒たちに海外校の魅力や留学の楽しさを伝えたい。生徒と海外の懸け橋になるのが、今の私の希望です。



明星 祐香先生

広島修道大学附属ひろしま協創中学校・高等学校
常勤講師(英語科)
愛媛県公立学校教員採用試験(中学校英語)合格
広島修道大学大学院人文科学研究科英文学専攻2022年3月修了
新田高校出身(愛媛県)



渡邊 陽一校長

広島市立五日市観音中学校 校長
人間関係学科・社会学専攻1986年度卒業
広島皆実高校出身

教員としてのプライドが私の支え

■教員を目指したきっかけ

私は、社会学への興味が強かったため、社会学専攻へ進学し、教職課程を履修し、教員免許状を取得しました。大学卒業後、民間企業に就職しましたが、教職課程で学んだ経験から学校現場で働きたい思いが強くなり、3年間の臨時任用教員の経験を経て、広島市で教諭として採用されました。私が中学校の教員になったのは、中学時代の担任だった先生の影響が強かったと思います。時に厳しく、時にやさしく生徒を見守る面倒見の良い父親のような先生で、充実した中学校生活を送ることができたので、自分が教員になるなら、担任のような教員になりたいと思うようになりました。

■教員という仕事の喜び

教員の仕事は大変なことも多いのですが、私はこの仕事にプライドを持っています。毎年多くの生徒たちとの出会いがあり、この出会いは一生のもの。今も多くの卒業生と繋がっています。現在、私と同じ学校で後輩の教員として頑張っている教え子もいます。今は保護者として私の学校を支えてくれている教え子もいます。教員ならではの繋がりが、また、卒業式やその他の行事での生徒の成長に感動し、涙が流れることも少なくありません。世の中を見渡す中で、実際に感動の涙を流せる仕事がどれだけあるのでしょうか。このようなドラマチックな仕事がどれだけあるのでしょうか。

■若手教員が成長できる環境整備

ここ数年、学校現場は働き方改革が進められています。学校における働き方改革の目的は、生徒たちによりよい教育を提供することです。教員が元気に、笑顔で生徒たちに向き合うための改革が現場では加速度的に進められています。部活動の地域移行やさまざまな業務改善が推進されています。また、「チーム学校」の考え方も浸透してきました。学校は組織的な対応で生徒たちと向き合います。学校に関わっている多くの大人で生徒たちを見守るというスタンスです。教員は孤独ではない、教員を孤立させてはならないという考えです。

■これから教員を目指す人へ

教育は教員の資質や能力に負うところが極めて大きいです。それが教員のプライドであり、だから、教員は現役である限り学び続けなければなりません。私の教員生活もゴールが近づいてきました。「こんなやりがいのある仕事はないぞ!」、「こんなドラマチックな体験ができる仕事、涙を流せる仕事はないぞ!」ということを志のある母校のたくさんの後輩に伝えたい、そして、私の教員としてのプライドを託したいと思います。

4年間のスケジュール

※教育実習等の時期や期間については学生が取得を希望する免許種によって異なります。※介護等体験は小学校、中学校の免許取得希望者のみ対象です。



Student Voice 学生の声

交流を通して広島市の教育を考える

教師という職業に対して知見を深めたいと思い2年次に同セミナーに参加しました。特に、教師を目指す他大学の学生とのグループ活動では、教育現場の課題について多様な視点で考えることができました。セミナーを通して、目指す教師像がイメージでき、教師を目指す意欲が高まりました。大学での学びとは違った学びが多くあるので、是非参加してみてください。



吉永 亜海さん
人文学部教育学科 2020年度入学
広島県立広島観音高校出身

ひろしま未来教師セミナーに参加

先輩から代々引き継がれる合格への道のり

同報告会に参加し、採用試験合格への道をイメージできました。現在私は採用試験に向けて勉強を進めていますが、本当にこの勉強の仕方で良いのかという不安な気持ちがありました。この合格体験報告会に参加して、実際に合格した先輩方から話を聞き、どのような勉強法や流れで準備をすればよいのかを知ることができたので、迷いなく勉強に励めるようになりました。



藤田 悠汰さん
法学部法律学科 2020年度入学
崇徳高校出身

採用試験合格体験報告会に参加

広島修道大学教職課程の5つの特長

時代のニーズに対応した教育者の育成

今日の社会は変化が激しく、先行きが不透明で将来の予測が困難であると言われています。学校教育では、このような時代を生き抜き、自らの人生を切り拓いていく力を持った子どもを育てていく必要があります。そのため、ICT機器の活用やプログラミング教育、英語教育等の様々な教育実践が行われています。**学校現場では、地域や社会のニーズを理解し、柔軟に対応できる教員が求められているのです。**本学では、デジタル教科書や電子黒板を用いた模擬授業の実施や現職教員との学習会・交流会等を通して、**教員になったその時から活用できる「実践的指導力」を育む**ことに力を入れています。学生自らが主体的に学ぶ態度を身につけることによって、**生涯にわたって子どもたちとともに「学び続ける教員」の養成**に取り組んでいます。

特別支援学校教諭一種免許状を取得できる

特別支援学校の教員は、小学校・中学校・高等学校または幼稚園の教員の免許状に加えて、特別支援学校教諭免許状を有していなければなりません。特別支援学級担任や、通級による指導を担当する教員は、特別支援学校教諭免許状を有する規定にありませんが、免許取得を通じて知識を得ることで、より専門的な教育を行うことができます。また、**通常学級に通う公立小中学校の児童生徒の8.8%に発達障害の可能性があり(文部科学省調査)**。特別支援学校教諭免許状取得者は、特別支援教育コーディネーターとして、地域の特別支援教育推進のリーダーとしての活躍も期待されています。平成19年から、盲学校・聾学校・養護学校ごとに分けられていた教員の免許状が、一本化されました。**本学では、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者に関する教育の3領域の一種免許状を取得**できます。(全学部対象)

栄養教諭一種免許状を取得できる

栄養教諭は、2005(平成17)年に制度化された新しい教員免許です。以来、学校給食に携わる管理栄養士ならびに栄養士は、それまでの学校栄養職員から栄養教諭に切り替わりつつあります。広島県をはじめ多くの地方自治体においても、新規採用について栄養教諭で募集するケースが増えています。活躍の場は、配置された学校や学校給食センターが主となりますが、1990年後半より「食育」に力が注がれるようになって以降、学校を中心とした周辺の地域へと広がりを見せ、その活動に期待と関心が持たれています。健康科学部健康栄養学科では、2017年の開設以来栄養士・管理栄養士の養成はもとより、栄養教諭の養成についても取り組んできました。**2022年度の広島県の採用試験において、初の栄養教諭採用者(現役合格)を輩出、臨時採用者を含め2022年度現在2名の卒業生が教育現場にいます。**

社会教育主事任用資格も取得できる

社会教育主事(社会教育士)養成課程を有する大学は、中四国地方では国公立合わせて9大学で、**広島県においては本学を含め私立大学3大学**にとどまっており、広島修道大学の大きな特徴の一つです。(対象学部は左表参照)以前は教育長の発令を受けて免効する資格でしたが、2020年度より本課程を修了すれば「社会教育士」として活躍できるようになりました。社会教育士は、学びの場を創ったり学ぶ人を応援したりすることで地域づくりを推進する役割を果たします。地域の中の学校が重視される昨今、この有資格者に対して**教員採用試験で加点**する自治体も増えてきています。

保育士から高校まで幅広い免許種を用意、複数の免許を取得できる

私たちを取りまく社会のありようは変動しています。そのような変動に対して、特に「ひと」を相手にする教育者は「教職員免許状(以下、教員免許)」があればうまく対応できるのでしょうか。確かに、教える職業に就くために教員免許状を持っている必要があります。ですが、相手にする「ひと」がどのように育っていくのか、育つためにはその「ひと」がどのような個性や願いを持つのか、理解し続けようとするのも大切なことではないでしょうか。本学の教職課程の特徴の一つに、学生が設定する目的に沿って、幅広い教員免許状(一種)が取得できるということがあります。もしあなたが「さまざまな発達段階に対し、教育者として柔軟に関わることでできる教師になりたい」と考えるのであれば、幼稚園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校というように、**となり合う学校種の教員免許状を両方取得することが可能です(教育学科)**。またあなたが「さまざまな個性を持つ人の育ちに対し、支援する専門家として臨機応変に関わることでできる教師になりたい」と考えるのであれば、基礎となる免許状(幼稚園、小学校、中学校または高等学校のいずれかの教員免許状)に加えて、**特別支援学校教諭の免許状を取得することも可能(全学部)**です。「大学で学習した専門性を活かして続ける教師になりたい」ということであれば、中学校英語科、高等学校商業科・情報科、栄養教諭等の教員免許状を取得することもできます。つまり、広島修道大学には「教員免許状を取得する」ことを超えて、チャレンジする学生にとって「教育専門家として意味のある教員免許状を取得する」ことのできる仕組み、言い換えると、**学生一人ひとりの「目的をもった学び」に応えられるように、幅広い教員免許状が取得可能な教職課程が用意されています。**

取得可能な資格・免許状と学科

学部・学科	商学部		人文学部		法学部	経済科学部		人間環境学部	健康科学部	国際コミュニティ学部		
	商学科	経営学科	社会学科	教育学科	英語英文学科	法律学科	現代経済学科	経済情報学科	人間環境学科	健康栄養学科	国際政治学科	地域行政学科
資格名・免許名												
保育士資格				●								
幼稚園教諭一種				●								
小学校教諭一種				●								
中学校教諭一種	社会		●	●		●	●	●			●	●
	英語				●							
高等学校教諭一種	地理歴史		●	●		●						
	公民		●			●	●	●			●	●
	英語				●							
	商業	●	●					●				
情報							●					
特別支援学校教諭一種 ^{※2}				●								
栄養教諭一種									●			
社会教育主事任用資格 ^{※3}			●	●							●	

※1 届出書類提出中。内容には変更の可能性があります。
 ※2 特別支援学校教諭一種免許状は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校のいずれかの免許を取得すれば、どの学部でも取得可能です。
 ※3 社会教育主事任用資格については、P4を参照してください。

広島修道大学 教職課程の強み

教員を目指す学生を手厚くサポートするための、
学修環境や様々な取り組みをご紹介します。

充実した施設



最新の設備を備えた施設で学べる

教員免許取得を希望する学生のための施設として、小学校課程実習棟、音楽実習棟、保育実習室、図工室、機能訓練室、観察室、ピアノ実習室、教職課程学習室を備えています。

2022年度より教職課程学習室を移設し、教員免許取得を希望する登録学生が自由に勉強できるスペースが誕生しました。また、模擬授業を行う教職課程演習室を新設し、電子黒板やデジタル教科書を使用したICT教育を行うと共に、教育実習や教員採用試験の準備ができる教職課程専用の教室を整備しています。正課授業の他に学生同士でのグループ学習や模擬授業も可能となっており、授業で教わったことを具体的に再現できるスペースとして活用されています。

合格体験報告会



学生同士の交流を通して教員へ

広島修道大学では、学生が互いに協力しながら自主的に教員採用試験対策を充実させています。その一つに教員・保育士採用試験合格体験報告会があります。本報告会は、当該年度実施された教員・保育士採用試験に合格した各学部・学科の4年生が主体となって企画する、教員や保育士を志望している1~3年生に向けたイベントです。免許種・教科別のグループに分かれ、合格した4年生は採用試験に向けた勉強方法やどのような参考書を使用したか、都道府県別の傾向などについて詳細に説明します。その際、「教職課程演習室」「教職課程学習室」の設備の使い方の説明なども後輩へ引き継いでいます。本報告会は、教員を目指す1~3年生の教員免許取得へのモチベーションとともに、教員採用試験合格への意欲を高める絶好の機会となっています。

教育委員会連携事業



教職の魅力を見直し

広島県教育委員会が実施する広島県教師養成塾の出席講座を活用し、全学部の教職課程履修生を対象に、1年次「教職の魅力」、2・3年次「教育実習参加の心構えやマナーと学校現場での事例をもとにしたケーススタディ」、4年次「教育現場の実践演習を中心とした教員としてのあり方について」という流れで、大学4年間を見通した体系的な講座を開講しています。大学における教員養成段階で教育委員会の方から直接お話を聴き、学校教育の諸事象について考察する場を体験することで、大学で学ぶ理論と教育現場における実践の往還による、教員としての実践的指導力の育成を図ることができます。教職の魅力の再発見と、意識の向上につながっています。

学校教育インターンシップ



「学校教育インターンシップ」は、広島市の「大学生による学校支援活動」をはじめ、呉市、廿日市市、附属学校と連携して行う授業です。おおむね、5月くらいから年度末(3月)まで週に1回、連携自治体の学校(幼、小、中、高、特別支援)及び附属学校(中、高)に赴き、教育活動に参加します。活動内容は活動校の先生方と相談して決めることとなりますが、学習指導補助や学級担任の補助など、様々な活動を行います。また、毎回の活動記録を作成することを通して、自身の経験と学びを振り返り、年度末に同じ活動をしている他の学生や教員とその共有を行い、実践を踏まえた学びを生み出しています。この事後の学習と実践の場での既定以上の時間数の活動を総合的に評価し2単位を認定しています。

伊藤 妃奈乃さん

愛媛県公立学校教員採用試験
(高校英語)合格
広島修道大学人文科学
研究科英文学専攻2023年度入学
愛媛県立小松高校出身

■教員を目指すきっかけと大学院への進学

私が英語の教員を目指すきっかけになったのは、大好きな英語の魅力を多くの人に知ってほしいと思ったからです。特に英語が苦手な子どもたちにどうやって英語の魅力を伝えるか、大学の先生や先輩と話をすることで、自信を持って英語の魅力を伝えるためにはもっと勉強が必要だと考え、英語の専門性を高めるため大学院へ進学しました。

■学生のうちにできること

私が学部生の頃は新型コロナウイルス感染症の影響もありなかなか海外へ出かける機会に恵まれませんでした。広島修道大学ではネイティブの先生から英語で授業を受けることができたので、毎日活きた英語にふれることはできましたが、やっぱり留学には行きたかったと思っています。

大学で過ごす時間は本当にあっという間です。教員を目指すみなさんは留学や教育関係のボランティア活動への参加等、どんどん挑戦してみてください。

小金丸 拓海さん

広島県・市公立学校教員採用試験
(高校政治経済)合格
人文学部教育学科2020年度入学
広島県立祇園北高校出身

■高校教員を目指すきっかけ

私は野球が大好きで、学校の先生になって野球部の監督がしたいと思ったのが教員を目指すきっかけでした。この頃は中学校教員になりたいと思っていました。

大学へ進学してからは教育学を学びながら母校の高校で野球部のコーチとして後輩指導に取り組んできました。1年生から指導してきた後輩たちが立派に成長し卒業していく姿に感銘を受け、教育者として高校生と関わっていききたいという思いが強くなり、高等学校の教員を目指すことにしました。

■迷ったら挑戦してみる

私にとって、母校の野球部でのコーチ経験が進路を決めるターニングポイントになりました。教員になるために大学で主体的に学ぶことはとても大切です。そして学外に踏み出せばさらに可能性を拡げることができます。

教育関係のボランティア活動への参加等迷ったらやってみる精神で、積極的に挑戦してほしいです。

柄崎 冴映さん

広島県・市公立学校教員採用試験
(小学校)合格
人文学部教育学科2020年度入学
広島県立広島高校出身

■仲間と切磋琢磨できる環境

教員を目指すたくさんの仲間と出会うことができることは、広島修道大学で学ぶメリットの一つだと思います。模擬授業で児童役の仲間からアドバイスをもらって授業を改善したり、教員採用試験に向けた勉強で励まし合ったり、同じ目標を持つ仲間と共に切磋琢磨できる環境は将来教員になるためにとても大切な要素だと思います。

■学校現場での経験が教員への思いを強くする

小学校の教育実習では、子どもと一緒に成長することの素晴らしさを学ぶことができました。また2年間参加した学校現場でのボランティア活動で子どもたちと関わっていくことで、教員になりたいという思いが更に強くなりました。

4年間の大学生活中、学校現場で学べる機会がたくさんあります。ぜひ積極的に活用してほしいです。

堀 七実さん

広島県・市公立学校教員
(特別支援学校中学部社会)合格
人文学部教育学科2020年度入学
日本航空高校出身

■大学の手厚いサポートが安心につながった

私が中学生の頃に特別支援教育に興味を持ち、特別支援学校教諭一種免許状を取得できる広島修道大学へ進学しました。大学の支援は手厚く、指導案の書き方や教員採用試験に向けた模擬授業・面接対策等、とても親身になってサポートしていただきました。

また、先生方のアドバイスにより自分の強みを見つけることができ、安心して教員採用試験に臨むことができました。

■子どもが自立していけるよう支援したい

教員採用試験は大変でしたが、一緒に頑張ってきた仲間とともに乗り越えることができました。

大学卒業は特別支援学校の教員として子どもが自立していけるよう積極的に支援していきたいと考えています。私自身も子どもたちと一緒に成長していけるよう頑張っていきたいと思っています。